

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	固定法Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎3階実技室
担 当 教 員	尾崎 卓宏・川村 智広	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師としてスポーツ現場にて使えるテーピング法及びスポーツ手技						
《成績評価の方法と基準》						
実技試験評価:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業参考となるプリントを随時配布する 【参考図書】 解剖学(全国柔道整復学校協会監修教科書), 柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会監修教科書)						
《授業外における学習方法》						
学んだ部位に対して、解剖学等のテキストを用いて確認し復習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
実技を通じて筋肉の走行等に、より興味を持ってほしいと思います。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	基本的なテーピングの使い方を習得する。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道 整復学の教科書を適宜 参考にし、解剖学構造 ならびに外傷の理解を 深める。	
		各コマに おける 授業予定	テーピングの基礎を学ぶ			
第2回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	指の外傷に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用 できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道 整復学の教科書を適宜 参考にし、解剖学構造 ならびに外傷の理解を 深める。	
		各コマに おける 授業予定	指に起こりえる外傷とテーピング実技			
第3回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	手首に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用で きるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道 整復学の教科書を適宜 参考にし、解剖学構造 ならびに外傷の理解を 深める。	
		各コマに おける 授業予定	手首に起こりえる外傷とテーピング実技			
第4回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	肘関節に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用 できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道 整復学の教科書を適宜 参考にし、解剖学構造 ならびに外傷の理解を 深める。	
		各コマに おける 授業予定	肘に起こりえる外傷とテーピング実技			
第5回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	肩関節に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用 できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道 整復学の教科書を適宜 参考にし、解剖学構造 ならびに外傷の理解を 深める。	
		各コマに おける 授業予定	肩に起こりえる外傷とテーピング実技			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	腰に起こりえる症状とテーピング実技		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	腰へのテーピング復習と治療法		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	大腿で起こりえる症状とテーピング実技		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	大腿へのテーピング復習と治療法		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝関節部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	膝で起こりえる症状とテーピング		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝関節部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	膝へのテーピングの復習と治療法		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	前脛骨筋の症状とテーピング		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	過怠金に起こりえる症状とテーピング		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	足関節に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用できるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	アキレス腱や足に起こる症状		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	本講義内容について履修した内容から、指摘された部位のテーピング貼付けができるようになる。	配布プリント テーピングテープ	解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。
		各コマにおける授業予定	まとめおよび履修内容の確認		